

令和元年度 水稻害虫トラップ情報（8月下旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップでは、現在第2世代の誘殺がほぼ終息しており、八戸で少数の誘殺が見られているのみである。

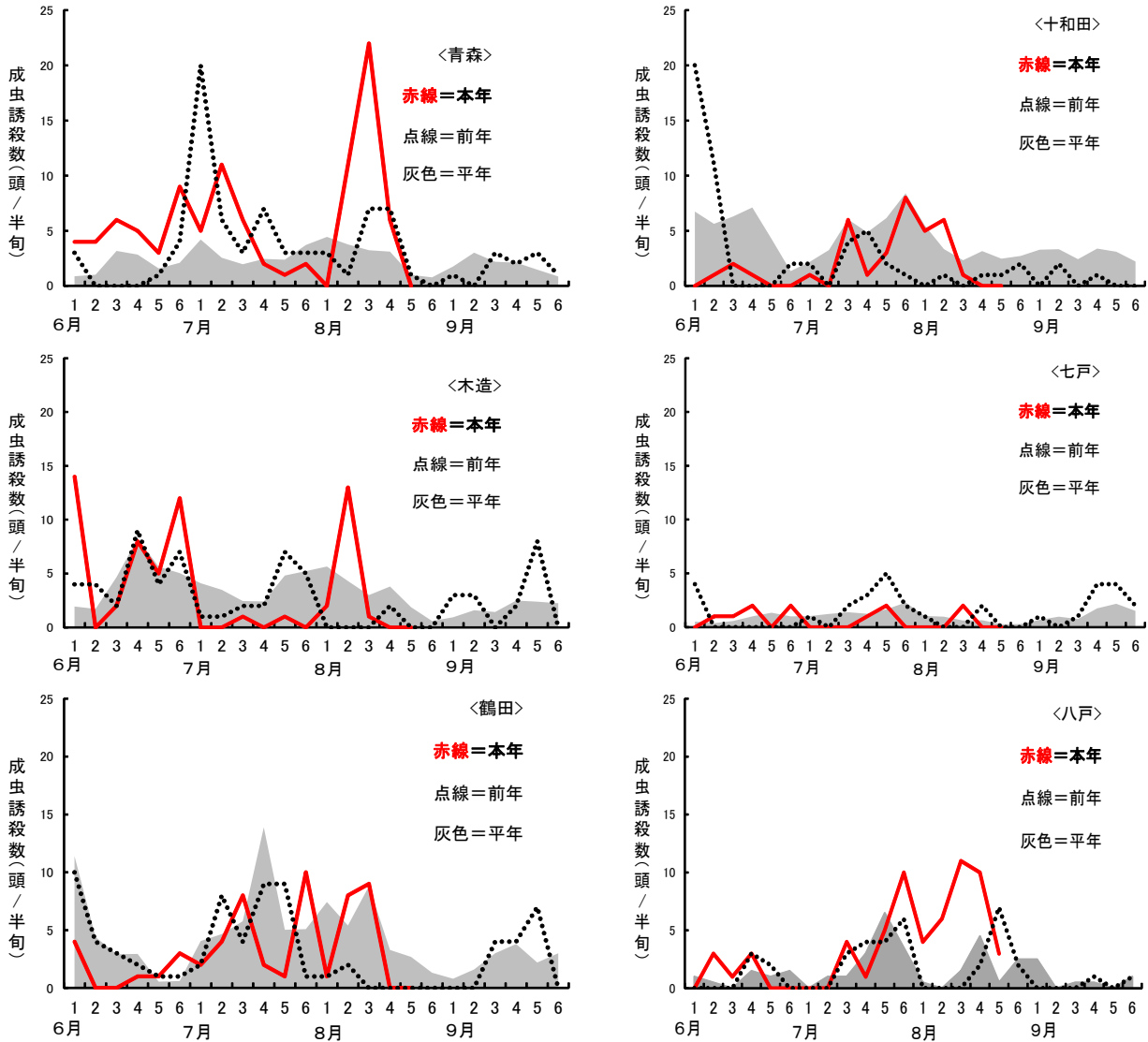


図1 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

平年値は、青森9年、木造7年、鶴田5年、十和田10年、七戸10年、八戸3年の平均値

(2) 予察灯での第2世代の誘殺数は、木造では7月後半にまとまった誘殺があったが、現在は終息している。青森も終息し、八戸はほぼ平年並に推移している。

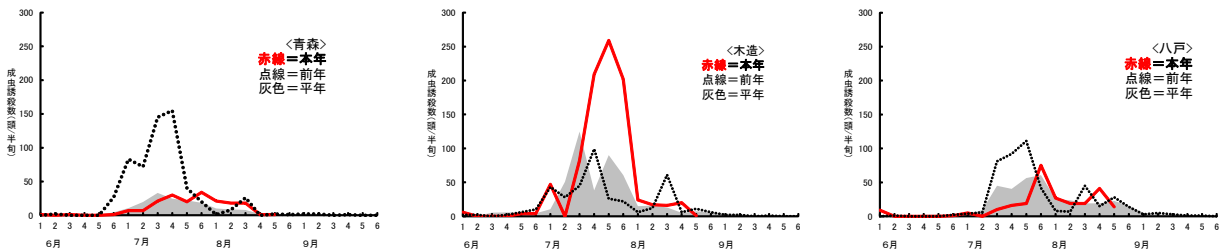


図2 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

2 アカスジカスミカメ

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップでは、青森の6月で誘殺数が前年より多かった。その他では木造で8月中旬に5頭の誘殺が認められたが、他地点での誘殺はほとんど認められなかった。

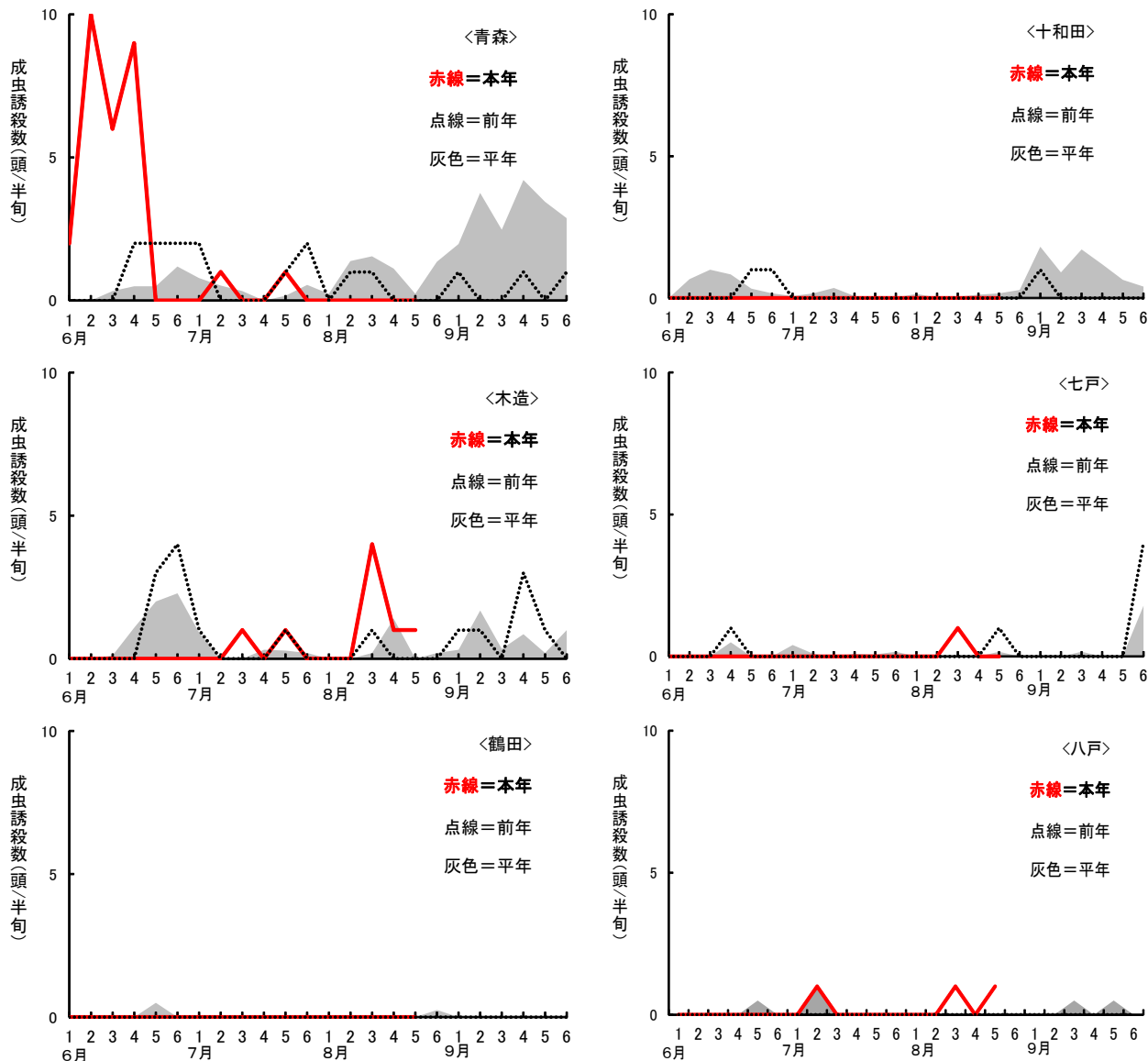


図3 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

平年値は、青森6年、木造5年、鶴田4年、十和田6年、七戸6年、八戸3年の平均

(2) 予察灯での第1世代と考えられる誘殺盛期は、青森及び木造ではほぼ平年並、誘殺数は平年よりやや少なかった。八戸では8月上中旬に5頭誘殺されたのみで誘殺盛期は判然としなかった

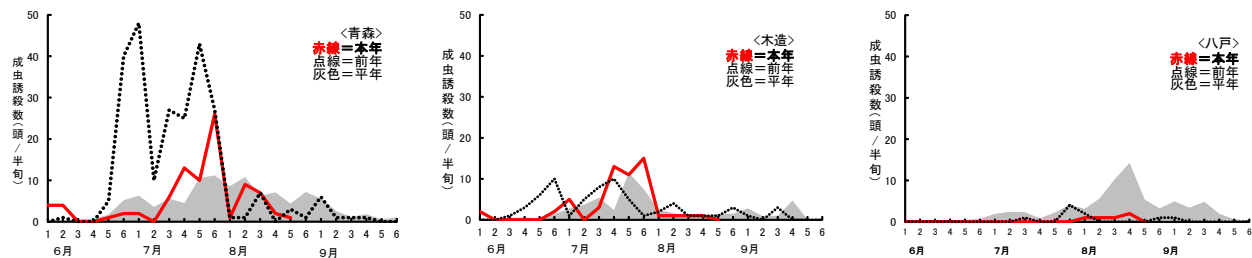


図4 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

3 フタオビコヤガ

(1) 性フェロモントラップによる第2世代の誘殺時期は7月下旬～8月中旬であった。誘殺数は青森、十和田は平年より少なく、七戸は平年並、木造、鶴田、八戸は平年より多く、特に八戸の誘殺数が突出していた。現在は各地点とも第2世代の誘殺はほぼ終息している。

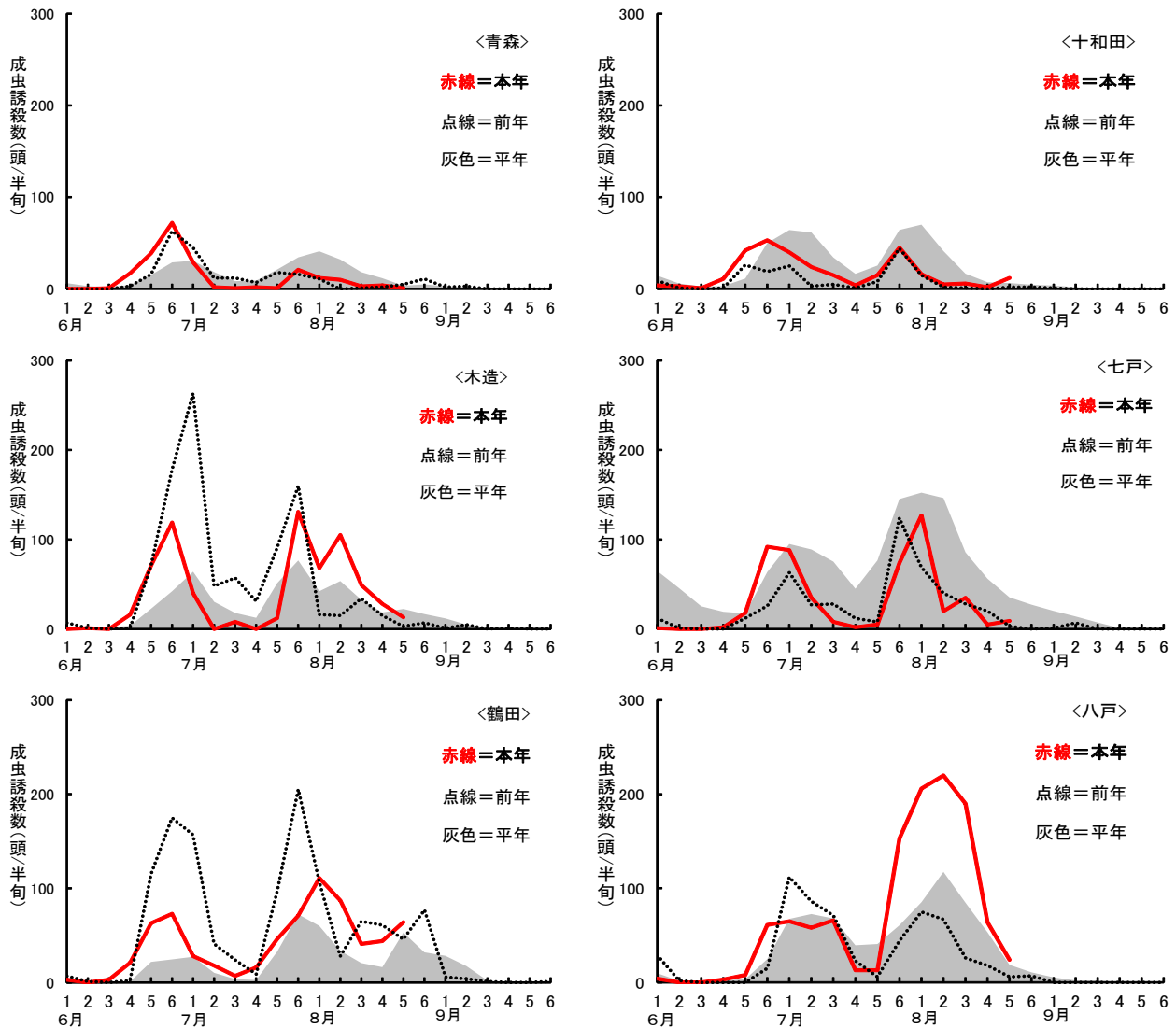


図5 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

(2) 予察灯での第2世代の誘殺は、性フェロモントラップと同様に7月下旬～8月上旬にみられ、誘殺数は青森は平年並、木造と八戸は平年より多く推移した。いずれの地点も現在はほぼ終息している。

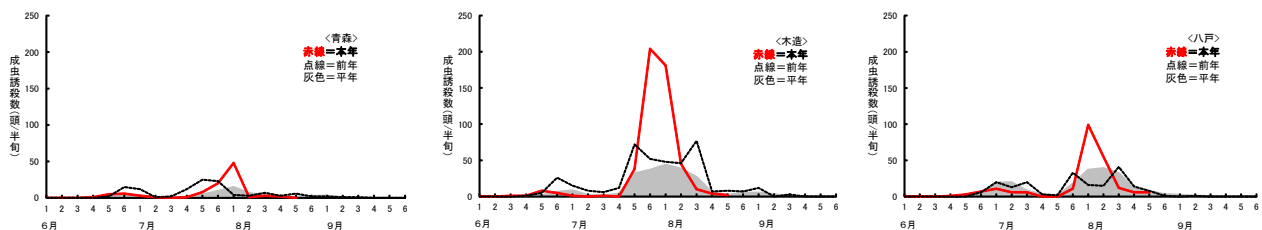


図6 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第2問屋町4-11-6

TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900

担当：総括主幹 市田忠夫